

淀川区区政会議 第2回コミュニティ力向上部会

日 時：令和5年8月9日（水）

午後6時29分～午後7時51分

場 所：淀川区役所5階 504会議室

○大橋政策企画課長代理

皆さん、こんばんは。本日は御多忙のところ御出席いただき、誠にありがとうございます。会議の開催に先立ち、皆様方に御案内させていただきます。

会議は公開のため議事録を作成するために録音をしておりますので、御了承のほうお願いいたします。

携帯電話は電源を切るか、マナーモードに切り替えていただくよう、お願いいたします。

そうしましたら、ただいまより令和5年度第2回淀川区区政会議コミュニティ力向上部会を始めさせていただきます。

私は本日の進行役を務めさせていただきます、淀川区役所政策企画課長代理の大橋と申します。よろしくお願いいたします。

委員の皆様には御多用中のところ、御出席いただき、誠にありがとうございます。

それでは、早速ですが、初めに、区長の岡本より御挨拶を申し上げます。

○岡本区長

改めまして、皆さん、こんばんは。本日も大変お忙しい中、区政会議コミュニティ力向上部会に御出席を賜りまして誠にありがとうございます。

本日は、委員の皆様におかれましては、任期中最後の会議となりますため、お礼かたがた一言御挨拶を申し上げます。

この2年間の区政会議におきまして、皆様方からいただいた貴重な御意見によりま

して区の施策に反映したもの、あるいは区政会議自体の取組の改善として、委員と職員の配席やオンライン参加、区内企業のオブザーバー参加など、少しずつではございますが改善事例も増えてまいりました。

また、コミュニティ力向上部会の事例で申し上げますと、地域活動の広報について、区役所のホームページのトップ画面から簡単に地域情報のページにアクセスできるように改善を行ったことや、タブレット端末を活用して地域活動の活性化を図ったことなどが挙げられると思います。貴重な御意見をいただき、本当にありがとうございました。

淀川区は2024年には区政50周年、2025年には大阪・関西万博開催に合わせまして淀川河川敷でのにぎわい施設のオープンや、十三船着き場の開設、2026年には元淀川区役所跡地における図書館を含む複合施設の供用開始というふうに幾つもの大きな転機を迎えることとなります。

今後とも区政会議が委員の皆様の御意見を区の施策に生かせるような場となりますよう、真摯に取り組んでまいりたいと考えております。

本日は事前にお示しをしておりますテーマに基づいての意見交換のほか、3月の全体会議や5月、6月の部会でいただきました御意見への区役所からの回答など、限られた時間ではございますが、委員の皆様からの御質問や御意見など、活発かつ有意義な御議論をいただければ幸いかと存じます。

本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。

○大橋政策企画課長代理

では、お手元の資料を確認させていただきます。

まず、会議の次第でございます。続きまして、配付資料一覧と部会名簿、裏面に座席表がございます。さらに、御意見票、区政会議アンケート、返信用封筒、よどマガ！の8月号、カラーのチラシであります、ICTはじめますというチラシになります。

続きまして、事前に御自宅に郵送させていただきました資料について確認をお願いします。

資料１、令和５年度第２回コミュニティ力向上部会の今回御意見をいただきたい内容、資料２、令和４年度淀川区運営方針、資料３、区政会議部会における御意見への対応方針の３点の資料を御持参いただけておりますでしょうか。

そうしましたら、本日の出席者について、部会名簿と座席表が裏表になっているものを御参照ください。

なお、西岡委員、英委員におかれましては、欠席と連絡をいただいております。大西委員におかれましては、到着が遅れるということで連絡のほうをいただいております。

この会議は午後７時５０分をめぐり、遅くとも午後８時までには終わってまいりたいと考えておりますので、御協力いただきますようお願いいたします。

また、本日も御発言の際に２分たちましたら事務局よりお知らせいたしますので、御発言についてまとめに入ってください、スムーズな進行に御協力をいただきますよう、お願いします。

なお、今回の会議が今期の委員の皆様が集まる最後の会議となります。そこで、委員の皆様には会議の最後に御感想を一言ずついただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

それでは、以後につきましては議長に会議を進行していただきたいと存じます。

山本議長、よろしくお願いします。

○山本議長

それでは、皆さん、こんばんは。議長の山本です。お忙しいのにおいでいただきまして本当にありがとうございます。

それでは、早速次第に即しまして、議題の１「地域活動の担い手を増やすには」について進めてまいりたいと思います。

まず、区役所から御説明をよろしくお願いいたします。

○山田市民協働課長

市民協働課長の山田です。いつもお世話になっております。私のほうから着座にて説明をさせていただきます。

まず、資料１の「地域活動の担い手を増やすためには」というところを御覧ください。

令和４年度淀川区民アンケートにおきまして、地域活動のことをどのように知りましたかという質問に対し、淀川区役所広報誌、よどマガ！で知ったが５２．７％で１位となりました。区役所の広報媒体の重要性を再確認しておりますが、今後どのような広報内容、記事を作成する際の注意点、着眼点、アイデアなどが有効と考えられますかがまず第１点目です。

２点目が、第１回部会におきましてデジタル化、オンライン化によってできるだけ効率のいい形で活動するのはどうかという御意見をいただきました。淀川区まちづくりセンターでは、情報の共有や団体の運営の手助けとなるＬＩＮＥＷＯＲＫＳの講座、チラシや広報誌を作成する際に役立つＣａｎｖａの使い方講座などを開催いたします。

地域活動の中でデジタル化、オンライン化することによって負担感の軽減、担い手の増加につながる具体的なものがありましたら御教示いただきたいと思います。

３点目がワンルームの单身向けではなく、ファミリー層向けの分譲マンション等の居住者に対しまして、町会加入の促進、地域活動に参画いただくためのアプローチとして、区役所が関与するにはどのような手法があるかと思われますかという３点です。

１点目のほうの補足なんですけれども、アンケートの結果なんですけれども、１位がよどマガ！で知ったということなんです、２位はとなりますと、地域の掲示板でということで、地域活動のことを知ったかということに関しまして紙媒体で知ったとか、というのがアンケートの回答として多かったので、紙媒体としての広報の内容、こういったレイアウト、デザインなんかがいいのかとか、あと目を引く内容とい

うか、のはどうなのかなというのを御意見いただけたらなと思います。

私からは以上です。

○山本議長

山田課長、ありがとうございます。

それでは、意見交換に移らせていただきます。

地域活動の担い手を増やすにはということで、まずは地域で長年活動されている地域委員の方から最初に御意見をいただきまして、その後、公募、大西委員はまだですけど、公募のお二人にはその地域活動について外から見た面ですね、なかなか中に加わっていただけていないと思いますので、外から見てどういうふうに感じられているかみたいなご意見を伺いたいと思います。

まずは、そうしたらどっちにしましょうか、中井委員からお願いできますでしょうか。

○中井委員

先頭バッターで僭越です。

次の世代の担い手のという形の1番の題目なんですけど、私どもの町会につきましては、5月の総会もちょっといろいろ本当に御迷惑をおかけしたと思っているんですけども、ただ絶対数が基本的に少なくなっているということだけは事実でございます。私どもも過去にいろいろ地域、小学校からずっといろんな活動をやらせていただいたんですけども、防災活動を初め、防犯から皆やってきたんですけども、やっぱり世帯数というか、今少子化という問題で子育ての問題がクローズアップされましたけど、実感としてそういう方がだんだん少なくなってきたというのが一番大きな原因だと思います。それとワンルームの場合は管理人さんがおられたらいいんですけども、やはりコンタクトが取れなくて、私もかなり努力してやっていたんですけども、コンタクトがとれないと、そういう方と。それで最近はスマホとか発信ツールがいろいろデジタル化という形であるんですけども、やはり直接活動していただく機会が少ないなと

というのが実情です。

例えば防災訓練で私が十数年、20年近くやっていたんですけども、10年ぐらい前は二人でやっていたんですけども、学校でやったときに、先般は100人という形行ったと消防署長は発言されていました。児童数と合わせて345人ぐらいの人数が防災訓練に参加していただいたという実情です。その中で、やはり子育ての方に参加していただくという、そしてなおかつ小学校、中学という形のをやっていただくという形で、ちょっと今回区長も御存じだと思うんですけど、やはり小学校のいろんな合理化の問題、統廃合の問題という形で、やはりモチベーションが地域的にかなり下がってきてるといえるか、精神的に役員さんの方を見られても物すごくお気の毒なのは、やはり内面的にかなり打撃を受けておられるな、私も含めてなんですけども、打撃を受けておられるなというのが正直な実感です。ですから、これには負けては駄目なんですけど、その中でいろんな提案をお話ししているんですけども、ですからやはり廃校という問題が4年先という形で決まっているならば、代案として今の校舎をどういうふうにもっていくかという提案というか、具体的な案を出していただくとまた地域のモチベーションが上がってくるんですけど、今のところそういうのも模索で、お年寄りから若者からそういう形でどうなるか分からないなと、何かやっていただいているというのは御存じなんだろうけど、そこらのところが一番、私もある議員さんとお話を差し上げた中で、具体的に実質これだという形を出していただかないと駄目ですね。その目標に向かってやはり進んでいくというモチベーションが出てくるんですが、なかなか今日も私ちょっと計画案というか、私見なんですけども、お出しさせていただきました。

私は個人的にやはり今回、地域を残していただきたいという形で、これは西中島とか十三、木川も皆、御協力いただいて、ほかの地域の方も御賛同いただいて残していきたいな、私もあと体が何年続くか分かりませんが、最後の七十数年間、こちらでお世話になって、いろんな亡くなられた方にお世話になりましたので、その方に対し

ても少なくとも何かを残していかないと申し訳ないな、学校の校長先生もうかなり亡くなられていますんでね、そういうつもりでもおりますんで、以上でございます。

○山本議長

ありがとうございました、中井さん。

続きまして、コロナ禍で長い間地域活動ができてなかったですけども、今年は盆踊り等、盛大に開かれているところもあると思います。

西中島、水本会長、お願いいたします。

○水本委員

こんばんは。

○山本議長

久しぶりに盆踊り等をやって感じられたこととか、そんなことでも結構なので。

○水本委員

今盆踊りとおっしゃっていただいたんで、盆踊りからまいりたいと思いますけども、担い手、確かに今までコロナ前はそうでもなかったんですけど、このコロナ禍4年ぶりにうちもさせていただいたんですけど、やはり各団体のほうが人がいないから、どこでもこれは同じだと思いますけど、どこでもお手伝いする人がいないから、店を出すほうも大分少なかったんですけども、幸い淀川区の区役所のまちセンの皆さんにお手伝いをいただき、うちは前の回も言ったんですけど、西中島は専門学校が沢山あるんです。専門学校のところ20名に、とりあえず1日目20名、2日も20名ということで生徒さんに来ていただいて、各ポジションへ割り振りをしていただいて、お手伝いいただきました。それが果たして地域の担い手になると、そうなるのか分かりませんが、一応そういうことがありました。

それともう1点、どこでもそうだと思うけど、担い手は確かにいないので、これは私が勝手にしたことなんですけども、例えばかき氷とかそういう、それをできる人がいなかったということで、今までどうしても団体ですね、子ども会、生徒さん、女性

会という、そこのほうからいろいろと集めまして、来ていたんだけど、それはもうどこでも今言うようにいないということで、うちは社協の三田会長さんにはお考えを聞いて、当然了解をもらってからの話なんですけど、それじゃあどこにも属していない、何も属していない若い人、手伝いをしてもらおうじゃないかということで、もう全然何もしていないんですよ。そういうことだから、地域の何々をしてと言ったらなかなかするのが二の足、三の足と思うんだけど、ちょっとかき氷を手伝ってくれと言ったら、どこにも所属していない若い子が8人若い子が来てくれました。例えば私の子どもの友達、大概是子どもの友達のクラスですので、これから地域で何にしても、ましてやうちは五十何人しかいない小学校ですから、父兄がいなくなってきたらやっぱりそういうふうに、でもやっていけないといけません。

それはよかったかどうか分かりませんが、幸い今日ちょうどアンケートをとっておりますので、各盆踊りでアンケートを各町がとっているのがあがってきまして見せていただいたら、10代と20代がそのアンケートの中で一番多いんですよ。参加してよかった、本当によかったというのが多いんで、それを見て、こっちがよかったなと思いました。やっぱりそういう若い子に、今度は4人ほど何か西中島でやるから、いろいろ来てくれました。だから、取組の担い手をやるんだったらまず何か今盆踊りですが、何か会をして、こういうものをするからというふうに常日頃から何か、目星といたらちょっと失礼か分からないけど、つけていけないといけないのではないのかなと。今までどおりでは町会でもいつまでも同じ人が同じような役をしてはいけないということを感じました。

○山本議長

ありがとうございます。今のお話を聞いていて、盆踊りは成功に終わったような感じで、西中島のほうは企業や、専門学校から非常に沢山お手伝いに来ていただいたということですね。

○水本委員

7時になったら帰るんですよ。

○山本議長

それも地域にはお住まいじゃないけれども、その地域の行事に対して手伝ってくれるということですか。

○水本委員

そういうことを学校側が言ってくれているんです。こっちからも当然。

○山本議長

という意味では担い手にはなるかなと私は思いますけど。

○水本委員

常に三田会長がいろんなところでそういうことをおっしゃっていただいていますので、だから向こうのほうから、今回は向こうのほうから何かお手伝いすることないですかという、向こうから来ているのでありがたいことだなと。

○山本議長

ありがたいですね。

○水本委員

それと本当にまちセンの方、仲谷課長代理にもそうですけど、いろいろと世話になりまして、それは感謝しております。

○山本議長

ありがとうございます。あと若い人の中でそのつながりを持って横に広げていただきたいということですね。

○水本委員

つながっていったらなと。

○山本議長

ちょっと私らの年代と下の年代ではほとんどつながりがもともとないので、もう駄目なんで、若い層でつなげてほしいというような、そういう意見だったと思います。

続きまして、浅井さん、何かございますでしょうか。

○浅井委員

先日、盆踊りを盛大に終わることができました。大体何人参加しているのかずっと数えてみたら1日で1,500人ぐらいの感じですね。それで、店を出すのに、子ども会とか何とか会というので皆できているんですね。ですから、あとは安全面だけですね、前回のときに熱中症でちょっと気分悪いという人が来たんで、すぐクーラーのある本部席、本部室のほうに入ってもらって、それで、救急車を呼ぶかどうかとか、本人は大丈夫やということだったんで、もう一人付き添いの人もいたので、だからそういう安全第一で考えてやっております。

次の担い手となると、小学校は、越境して隣の小学校へも行けるようになっているんですね、今。

○山本議長

そうですね。

○浅井委員

今、新大阪のマンションに住んでいる子どもさんが隣の北中島小学校へ行ったんで、もう宮原の町会には入らないと、こういうふうに言われましたんで、結構若い人が離れていっているなというのは感じます。やっぱりそういういろんな役割分担、押し付けじゃないですけど、ある程度担うというのが物すごくしんどいかもわからないのですけれども、町会の加入というのが義務か、努力義務か、あるいは任意かというのと、法的には任意でいいんですね。

○山本議長

任意です。

○浅井委員

だから、こっちも強制的にはお願いできないという状態です。私のほうからはそういうことです。

○山本議長

どうもありがとうございます。

そうしましたら、ちょっと目線が変わるという意味では、あんまり地域の中に深く溶け込んでいなかった寺田さんから、ちょっと外から見て感じたこととか、何かございましたら。

○寺田委員

このテーマでいかなくでもいいですか。

○山本議長

ちょっと外れても構いません。

○寺田委員

要はよどマガ！のことでどういうふうな視点があるかということで書かれてあったんですけど、これを今日いただいているんですけど、非常によくできていると私も思って感心しているんですけどね。細かくいろんな配慮があって分かりやすいですし、絵もしっかりと、写真も使って分かりやすい冊子だなと思うんですけど、今回で言いますと、けなすわけじゃないんですけど、今非常に問題になっているのが、マイナンバーの話が非常に世界で、日本の中で特に取り上げられてると思うんですね。その中で、これをつくる時期もあると思うんですけど、19ページにマイナンバーカードのちょっと上のほうのところで少し出ているんですね、これ。記事が出ているんですけど、やっぱり今、世の中の人たちの一番の関心事というのは、マイナンバーカードの使い方というか、要はミスがない形で移行ができているかということとか、自分がどうやって保険証を移行したらいいかということがまだ分からない人がたくさんおられる中で、ここを一番最初に持ってこないといけないと思うんです、やっぱり。そういう関心を持ってるものは何なのかということと、それに対して区のほうでどういう対応するのかということと、やっぱりその視点で順番を決めていたり、紙面をつくっていくということが一番最重要課題だと私は思いますので、いろんな見やすい

とかいうのは大事だと思うんですけど、一番関心があることをやっぱり最初に持っていくということではないと、人は見ていかなくなるというのが人の心理だと思うんですね。だから、特に、うちの親もそうだったんだけど、保険証の移行ができてないと、どうしたらいいか分からないと、電話したらいいじゃないかということで電話して、ここに来てやってもらったんですね。そういうことができますよということをやったりどこかに書いてあげないと、一番関心のあることは書いていなくて、ほかのことがいっぱい書いてあっても、じゃあ、見ても仕方がないなという話になりますので、やっぱりそのところの観点というのが一番大事なポイントかなというふうに思います。

あとよどマガ！のところは非常によくできているんですけど、例えばどんな話題をあと書いたらいいかというようなことも書いてあったので、最近、朝ドラの後にあさいちという番組ありますよね。３人でお笑いの方と一緒にやっている番組があるんですけど、あの特集が非常に今の世の中の中で関心事が多いことをやってることが多いと思うんです。例えばこの前は女性のひきこもりの話が出たんですけど、そこは我々が思っているのはやっぱり男性のひきこもりというのが多いんじゃないかなという観点で見ますけど、そうじゃなくて実は女性のひきこもりが多い。脱出するためにどんなことをしたのかとか、どういうきっかけでそれが乗り越えられた、どういうことがあったら気持ちが落ち着くのかということをそこで説明していたんですけど、そういうことを社会的弱者の人たちに対して、こういうものが読まれるということが大事だと思うので、ひきこもりだとかそういう支援が届かない人たちに対してどういう方法でやるかというようなことを、こういう方法をやってますよとかということを最初に持ってきてあげることのほうが、元気な人は別に何も読まなくてもいいわけですから、そういう意味では、社会的弱者の人たちに対して、いかに目を向けてもらうかということを発想の原点にしていったらいいかなというふうに思います。

以上です。

○山本議長

ありがとうございます。よどマガ！の中には子どもさんのケアとか、そんな記事も結構出てますよね、子育ての相談とか、そういうことをもっと。

○寺田委員

シリーズというか、ずっと中心にやっていったらいいかなと。

○山本議長

シリーズというか中心にこういうので載せていったらいいんじゃないかという、ちょっと担い手のお話とはずれたんですけれども、担い手云々ということは寺田さん、以前にもおっしゃっていらして、役員さんとかの負担が多いならば、もう第三の外部団体等に依頼して、そういう設営をお願いしたりとか、そういうことをして軽減をするようなことをされたらどうかというような意見を前回ですかね、前回お伺いしましたですね。ありがとうございます。

ちょっと、大西委員の意見もお若いので聞きたかったんですけど、ちょっとまだ到着されていないということなんですけれども。

今、5人の方にお伺いしました。もう少し言い足らなかったなとか、こういうことを付け加えたらよかったなというのがありましたら、あとお一人かお二人お話ししていただけないでしょうか。なさそうですかね。

あと、この一番最後のファミリー層向けの分譲マンション等の居住者に対しての町会の加入促進ということで、理事会と自治会で町会というふうなものがあって、理事会か、管理組合というのは皆さんよく分かっていて、あれは逆に任意じゃなくて、ある程度法的な縛りでその区分所有者というんですか、その権利を持っている方がみんなハード面やら、ソフト面をやっていくというのは、組合が管理組合ということになっていまして、町会は先ほど浅井委員が言われたようにあくまで任意だということで、町会回覧みたいな形で地域ではこういったことをやっています、自分のところの町会ではこういったことを催しをやったりというようなパンフレット等もお配りしたりするんですけれども、あくまで入居者の価値観で判断されているようで、子ども

さんが今度1年生になるんだから子ども会に入ろうという方もいれば、子ども会に入ったらいろいろ役も当てられて、掃除の当番や、見守りの活動や、そんなこともしないといけないのもうやめときますみたいな方もおられると思います。だから町会のメリットはこんなもんがあります、デメリットでこんなもんがありますということ言っちゃって、それぞれ受け取る側の主観なので、それを聞いたからといって必ず入ってくれるということではないと思うんですけども、そういう行動というのはずっと続けていかないと、諦めてしまったらもうそこで終わってしまいますので、区役所さんでも何かつくっていましたよね、そういう加入促進に対する何とかとかいうのとか、この間見せていただいたのは、小学校の授業向けに何でしたっけ。

○中井委員

すみません、先ほど発言されていた、よどマガ！の件で、マイナンバーで興味あるって、確かに今マイナンバーの保険のあれとか一番興味があって、若い方でも少なくとも、ただ町会でも先ほど言い忘れたんですけど、今回、私ども、盆踊りじゃなくて、秋祭りみたいな形でやるようなんですけども、その中でやっぱり面白いことをやっていくというんですか、そういう興味ある面白いことというのを見つけていくことが大事かなという気はしてるんです。だから、そのところ私は特にあれしたいなと思っているんですけども、ちょっとその辺が言い忘れたなと思って、申し訳なかったなと思ひまして。ごめんなさい、失礼、申し訳ない。

○山本議長

皆さんが興味を持ってくれるようなものをどんどんやっていかないといけないという、アピールしていかないとけないいうことですかね。

話もちっと途中になってしまったんですけども、ちっと5分早いんですけども、次の議題に移らせていただいてよろしいでしょうか。

そうしましたら、次の項目2の「区政会議のより効果的な運営について」に移らせていただきたいと思います。

区役所より御説明をお願いいたします。

○田口政策企画課長

資料１の下の方の項目でございます。

区政会議のより効果的な運営について、この間、下記のとおり様々な取組を行ってきました。例えば委員と職員の席順を交互にした、全体会議で区内企業にも御出席いただいた、全体会議中に部会ごとの意見交換の時間を設けた、例年８月は全体会議を開催しているところ、前回部会における議論をさらに深めるため、部会開催に変更した等でございます。これまでいろんな御意見を出していただいているところですが、今日は最後の部会の日ということもありますし、ちょっとこれは言い残したというか、まだ言い足りないところがあったとかいうのがもしございましたら、今後さらに区政会議をより効果的に運営するため、この間の取組を含めてどのような手法が効果的かということについて御意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○山本議長

御説明ありがとうございました。

それでは、意見交換に移らせていただきます。

区政会議部会における御意見への対応方針についてということで、意見をお願いしたいんですが、大西さん、御苦労さまでございます、お疲れさまです。どうしましょう、浅井さんからいきましょ。前回も区政会議をどうしたらいいかとかいう話はいろいろ出ていたと思うんですけど、少人数制にしたほうがいいのか、区政会議そのものに対して、我々はもっと勉強して知識をため込んでおかないと発言できないとか、そういったこともあったと思うんですけども。

○浅井委員

私がいつも思うのは同じメンバーなので、時々入れ替えて、入れ替えというとおかしいんですけど、もうちょっとほかの人も参加してもらって、いろんな意見を出していただいたほうが、我々の頭の中にある発想の仕方というのはもう皆決まってしまう

ているんで、それやったらもうちょっとほかの人が入って、ですから誰をどう入れるかというのは別にしまして、我々プラス何人かうまく入れ替えるようないろんな意見、多様性を持たせるということができれば、もっといろんな視点で物事を見れるんじゃないかなというふうには思っているんです。

○山本議長

ありがとうございます。3つ部会があるから、2人ずつ入れ替わっていくみたいなやり方というような、新しい刺激的な意見が欲しいということですよ。

○浅井委員

そういうことも含めて、ええ。

○山本議長

ありがとうございます。

水本さん、御意見ありますでしょうか。

○水本委員

せっかくいろいろと考えていただいて、職員さんと我々の席を隣同士にしたからといって、私何のあれもないと思うんですけども、私はそう思うんですよ、何か知らんけど、会が堅いんですよ。別に柔らかくやれというわけではない、柔らかいよりももう少し何かどうなのか、今日は、今度の会議は、例えばですよ、先ほどおっしゃったように、マイナンバーでいこうやないかと、一つだと。今日みたいに何かありませんか、いろいろありますよね、何か一つにテーマをぐっと絞ってやればと思います。どっちかといったら私はしゃべるのが苦手ですので。別に山本さんは柔らかいですよ、それを分かっているのは分かっているけど、もうちょっと別にもうちょっとこう自由に、別に区長がいようが、課長がいようが、それはそれじゃないですか。何かそういうふうな雰囲気をつくっていただきたいなというような感じがしました、正直なところ。課長が悪いのではないですよ。何かそういう感じがします。

それともう一点いいですか。

以前の部会で田口課長が見て美しいな、どこか淀川区の好きなところはありませんかという話題が出ましたですね。いろんな意見をいただきましたよね。けれど、それから、ただこういう意見がありましたということだけであって、例えば一回でもいいから、それだったら、一度このコミュニティ力向上部会の委員だけで、じゃあ、一つか二つに絞って、そこへ行ってみようじゃないかとか、そういう何かしてみようかとかというようなことを一つやっていただいたらなというふうに思います。私は二つか三つ言いましたし、ほかの方もおっしゃいましたよ。でもそれはそれで終わっているから、そんなにいいところがあるんだったら、今度一度連れて行って欲しいなというぐらいなものですよ。田口課長を責めているのと違いますよ。

○山本議長

机上の会議だけじゃなく、社会見学的なこともしたらどうだという、みんなで出て行って、いろんなまた新しい面も感覚もできてくるかなと思います。

続きまして、寺田さん、どうでしょうか。

○寺田委員

いろいろここに書いておられますけれども、席順を変えたとか、いろんなことをやっていたいているということで、本当に努力いただいているなというふうに感じます。

それで、意見交換というのはそれなりに皆さん意見を言われてるということで、私は別に問題ないと思うんですけど、やっぱりちょっと違う観点で言いますと、今世の中というか、現代社会の常識といいますか、女性の意見をやっぱりもっと取り入れないかんというのが、なぜかということ言わなくても皆さん分かっていると思うんですけど、やっぱり今日もおられない中で、その5割選率といかなくても、やっぱりもっと女性の人が活発に本音のところでしゃべるようなことが言われないと前へ進まないと思うんですね。やっぱり一番生活のベースを知っておられる女性の方の意見が、我々ほとんど男がしゃべっても表面的な話になりますので、何とか努力して

いただいて、女性の方の意見を言っていただくような方に来ていただいてしゃべっていただかないと、幾らどんなふうにやったらいいかということじゃなくて、本質的な問題がクローズアップされないと私は思います。だから、どういう人の意見をどういうふうにしゃべってもらうかということも含めて、ちょっと根本的にやり方も考えていただいたほうがいいかなというふうに思うのと、それと、テーマがちょっと大き過ぎて、本当に何回かしか出てこなくて話す場ではなかなか決まらないんで、さっき水本さんがおっしゃったように、テーマ絞って一つのこととちょっと1年間話をし続けるほうがより意見がクリア、具体的に形になって結果が出てくると思うんですね。でないと、何となくしゃべったけど、さっきおっしゃったようにどうないなったんかな、あれどうなったみたいな感じで終わってしまうのが、どうしてもそういうふうな形になると思うんですね、これだけの人数で、年3回、4回でしゃべったとしてもね。だからぜひ一つに絞ってやっていってもいいのかなという感じがします。そんなところですよ。

○山本議長

ありがとうございます。意見は出したけれどもその後、どんな結論になったんだろうとか、どんな方向に向かっているんだろうとかいうのは分からないというのと、もっと生活じみた議論、女性とか、生活に密着したというんですか、そういった意見もどんどん出して行って、区政会議部会をやったらどうかというような意見でございました。

続きまして、中井さん。

○中井委員

先ほど女性のことで、それとやはり各地域の方に、いろんなところから皆進出して出てこられて、やはり現場によって皆さん、置かれているところによっていろいろ状況が変わってきていると思うんです。全体的なことをしゃべるのと、マクロなこととしゃべるのと、ミクロのこととしゃべるのとちょっとやっぱり考え方がちょっと違っ

てくると思うんです。だけど私としては、各地域の方でどういう形のものをしてるかという意見を聞くほうが、私らとしては勉強になりますし、本当のこと言いますと。だから大阪全体24区、そうしたらどうなってるのかということで、ある意味では聞くと、本当のこと言うと、物すごくありがたい部分もあるんです。ですから、狭い我々木川南というところで私は、大阪府もいろいろ関係はしましたが、やっぱり年をとってくるとだんだんだんだん狭くなってくるし、東京のことも私ちょっと一部、子どもが東京にいますので、東京の学校のこととかいろいろなことも知っていますが、大阪なんかと全然格差が、格差というか、ある意味での人数も皆違ってきていますし、やり方も違ったけど、いい面と悪い面が両極端に出ています、はっきり言いますと。

ですから、そういうことの意見もちょっと、それともう一つ、今言われた、やっぱり僕は女性ね、女性の方にもっと出ていきたい。うちの町会なんかでも僕はもう女性の方を副会長に、会長も一部おられますけど、もっとどんどんやっぱり半分ぐらい女の方に出てきていただいて、いろんな意見をやっていただくのが僕は本当はありがたいなという意見ですので、そこらはこれからまた女性の方を少なくとも、国会じゃないですけども、半分か、少なくとも集まらなくても、防災リーダーなんかでも女の人をもっと入れてくれということで僕は昔から言っているんですけども、ほとんど出てこないんで、一人か二人ぐらいしか出てきませんので、女性の方の防災のときの活躍というのは本当に男以上に重要なんでね。教育でもそうですし、子育てでも当然メインはもう女性になっていますので、そういうことをちょっとこれから今後お願いしたいなと思っています。

長くなりました、申し訳ございません。

○山本議長

ありがとうございます。先ほどもありましたように、女性目線で見るとまた全然違うことが見えてくるんじゃないかというようなことだと思います。

続きまして、大西さん。区政会議のより効果的な運営についてという大きな枠なんですけれども、何か御意見ございますでしょうか。

○大西委員

そもそもの区政会議の趣旨といいますか、僕たち委員に求められていることというのは何なのかなというのを考えないといけないんじゃないかなというのをちょっと思ったりしました。今言われたような女性云々の話もちろん大事な話ではあるんですけども、ないものねだりでいない状況で、それをどうこう言ったって多分進まない話なので、それは今後の課題としてあるべき姿だと思いますけども、今この状況でどうすべきかというのを考えたほうが建設的ではないかなと思います。

今まで通じて思ったことは、結構マイナスな意見のほうが多かったかなというふうな、後ろ向きな意見のほうが多かったかなと思うので、そうじゃなくて、自分は地域、結構町内会長さんとかされている方が多いので、その現場の意見をどうしたらよくなるかという建設的な意見を言ったほうがよりいい方向に進むんじゃないかなというふうには思いましたし、今後そういう意見が出ないと、この会議自体が有意義じゃなくなるのかなというふうには思いました。

以上です。

○山本議長

じゃあ、もっと本音でみたいな感じですよ。

○大西委員

そうです。はい。

○山本議長

皆さんちょっと着飾った言い方をされているのかもわかんないですけど、それには水本さんも、先ほどありましたように、テーマをやっぱ絞って、今日はこれに対してああやこうやとやっていくのがベストかなと。ちょっと話題が大き過ぎて、意見は出るけどまとまりが全然ついてないというのもあります。以前私言いましたように、

僕、区政会議そのものがある何個かのテーマを2年、1期2年ですから、それを2年間でやっていって最終的に合っている、間違っているは別にして、何となく答えを導くものやというふうに僕は思っていたんですよ、区政会議自身が。こういうサイクルで、駄目だったらまた回っていくみたいな、そういうものやというふうに区政会議を思っていたんですけれども。そういう形がもしとれるのであれば、ある程度テーマを絞って皆さんざっくばらんにうちの地域はこんななんだ、こんなことに悩んでるんだ、皆さんのところはどんなことをやってるんでしょうかというような参考意見、中井委員もほかの地域の意見を聞きたいということなので、そういった議論のほうにより実のある区政会議になるんじゃないかなというふうには私は感じております、この2年間。

また、来期ももう1期やれと言われたんで、またこの部会でお会いする方もおるかと思っておりますけれども、もう1期やらせていただきます。

すみません、ちょっと話が早く終わっちゃうんですけれども、何か役所のほうからありますか、これに対して、もうぶっちゃけて本来こんな意見が欲しかったんだみたいなのはあるんですか。

○田口政策企画課長

これまでもたくさん御意見もいただいておりますし、せっかくの機会ですので、今日最後の部会になりますし、いや、もう今日どうしてもこれを言いたかったとかいう、もう忌憚のない御意見、もう小さいことでも結構ですし、大きなことでも、今おっしゃったやっぱり大きな視点も必要やし、小さな視点も必要だというのはすごい参考になったとは思いますが、女性参画の件も、何%以上にするようにという号令はかかっているんですけども、おっしゃるようになかなか手を挙げていただけないと、地域からの推薦の関係もございまして、公募委員の方もそれなりに女性の方にも来られているという現状はあるんですけど、なかなか総体としては女性は少ないなとは私も個人的には考えたりはしております。

○山本議長

課長、何かありますか。

○山田市民協働課長

私、担い手のほうの話で、よどマガ！のことで寺田委員からの御意見は本当にありがとうございます。確かに出し方というか、出す場所、載せる場所によってやっぱり見ないページ、埋もれてしまうページというか、目立たないというのものもあるのかな。確かに載せればいいというものではないんだなということですね。

○山本議長

ただ情報だけばつと羅列しているということですね。

○山田市民協働課長

羅列しているだけというのはちょっとよくはないですね。

○山本議長

何が一番今回の目玉というか、ポイントだねという。

○山田市民協働課長

だから、周りの地域活動、町会って知っています、この部分についてずっとこの間、数か月というか、ずっと載せているんですけども、そこもやっぱりシリーズものでいろいろとやっているんですけども、それをもうちょっと前のほうにするとか、大きくするとかというのもちょうとたまには必要なのかなと思ったりとかしましたし、あと確か私なんかは広報担当というか、紙面の編集担当ではないんですが、そこへは言うていくものだということをちょっと思いました。ありがとうございます。

○山本議長

ありがとうございます。すみません、役所から意見を聞いてどうするかというのがあるんですけども、仲谷さんどうですか。

○仲谷市民協働課長代理

私も担い手の話になるんですけど、水本委員がおっしゃったように、若い方が8名

参画されたということで、ほかの地域でも掲示板で募集をされたそうなんです。若い方が5人ぐらい来てくれたということで、例えば町会だとか、地域団体に所属すると、役員の順番が回ってくるとか、そういったことが重荷になってきたりするかもしれないので、例えば盆踊りとか、夏祭りとか、運動会とかそういうスポット的に募集をするのは効果的なのかなというように感じています。

それで、よどマガ！ですとか、ホームページだとか、区役所の広報媒体を活用すれば、もっと地域の担い手といいますか、スポット的な役割の方たちの応募があったりもするのかなというふうに思っていますので、どんどん取り入れていきたいなと感じています。

○山本議長

いろんな媒体を使って公募形式ですとか、そんなことですよね。ありがとうございます。

○水本委員

難しく考えないで、お手伝いさせてくれないかというような感じで言ってるんですよ。

○山本議長

ですよ、地域の中心に入ってくれじゃなしに、こういう催しがあるから、こういうことをやってほしいんだということです。ただ、それだったらやろうかという人が多分いるのかなということですよね。

○仲谷市民協働課長代理

いるのかな、ただ、地域のほうで、例えばそれが、受入れができるかどうかというようなこともあると思いますので、地域としっかり対話をしていきながらやっていかないといけないかなというふうには思っています。

○山本議長

そこは地域のほう、柔軟に対応せんといかんと思うので、やっぱり困っているんだ

と思うので。ありがとうございます。

総務課長、畑中さん、何かございますでしょうか。

○畑中総務課長

あまり案件に関係ない立場なんですけども、今仲谷代理が言われたように、やっと水本会長がおっしゃられている地域の担い手というか、新たな形で具体的に初めて出てきたかなと。今おっしゃられた、できるところとできない地域が絶対あるので、できる地域は、18地域の見本になるみたいな形でどんどん取り入れてもらってやっていけたらいいかなと思いました。ずっとやっているから負担感というのがどうしてもあるという話ですので、スポット的というのは新たな考え方でいいかなというふうに思います

○山本議長

ですよ、だからこういうことやって、担い手というか、そのお手伝いしてくれる方が増えたとか、そういうのをもっと18地域あるんで、そこであそこはあんなやり方をしていた、それはうちにも通用するのかなとか、うちはまた違うやり方があるんじゃないかな、やっぱり考えていかないと。最初はまねでもいいと思うんですけど、まねして駄目だったら次にどんなことをしたらいいんだというふうに順番に進んでいかないと、いつも自分らだけやっていけばいいんだみたいなんでは、どこの地域もそのうちパンクしてしまいますんで。ありがとうございました。

恐れ多くも区長さんに何か言っていただこうかなと思っていたんですけど。

○岡本区長

先ほど大西委員のほうから区政会議にどんなことを求めているのかというお話があったかと思うんですけども、大きく2つあると思っています。1つは、我々淀川区政を進めていく上で、区政会議委員さんにそのチェックを果たしていただきたいということと、あともう一点は、区政会議委員さんから自由な御意見を我々は拝聴したいという、その2点かなというふうに思っています。

それで、少し区政会議委員さんにも誤解があるんですけど、決して皆さんに役所と同じレベルで議論してくださいというつもりはさらさらなくて、確かに今日も議題の中の一つに入ってますけれども、運営方針について意見をくださいということになっているんです。これは条例上そうなっているんで、これは諮らざるを得ないんですけども、別にこれをきっちり読み込んで、役所と同じレベルで議論してくれというのは全く思っていないくて、極端な話、御自身の中で興味のあるところをちょっと見ていただいて、そこは多少は勉強していただかないといけないかもしれませんが、読んでいただいて、御自分の立場から御意見を言っていただければいいのかなというふうに思っているんです。

そういう意味で、ここに書いてあることを全て理解した上で議論をするというのは多分、恐らく難しいと思いますので、そのところはきっちりこれから区政委員さんのほうにはお伝えをしていきたいなというふうに思っていますのと、あと自由な御意見をいただくというところなんですけど、この間こうやって部会を重点的にやりましょうということで進めていただけて、皆さんから非常に自由な意見を結構聞かせていただけてよかったなと思っているんです。

ただ、ちょっとある別の部会で、もう役所からテーマを与えられてしゃべるのは嫌だという意見があって、確かにそうだなとも思っているんです。せっかく区政会議委員さんが集まっているんだから、今日は何か一つのテーマでしゃべったらどうだという御意見もあったんですけど、もう自分のしゃべりたいことを自由にしゃべっていただくと、それで、役所もその意見に対しては、人権上差別的な表現があったらそこは修正させていただきますけど、そうでない限り、自由な御意見として言いつ放しで言っていただくと。それで、そこは我々もその意見に対して肯定も否定もせずに、区政会議委員さんの意見として、我々として参考になるもの、取り入れるものがあればぜひ取り込んでいきたいなというふうに思っているんで、そこは部会の中で、年間で一つのテーマで2年間議論していきましょうという部会もあってもいいし、いやそう

じゃなくて、自由に言わせてよというようなやり方もあるのかなというふうに今日お話を聞いている中では少し思いました。

以上です。

○山本議長

ありがとうございます。

副区長にもお願いしたいところなんですが、区長からもお話が出ましたように、次の議題、3番目「令和4年度淀川区運営方針の振り返りについて」ということで、区役所のほうから説明をお願いします、この資料2のことですよね。

○田口政策企画課長

資料2でございます。もう事前にお配りしておりますので、詳しい説明を省かせていただきます。いずれにしましても、これは令和4年度の運営方針振り返りとして、具体的取組ごとにと組への区役所としての自己評価ですね、数値目標の達成状況や課題、改善策というのを今回記載したということでございます。

何か御意見、御質問等ございましたら、この場で御発言いただくか、あるいは御意見票というのがございますので、そこに記入していただいて御提出をよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○山本議長

ありがとうございます。どうでしょうか、この話題で行きますか、皆さん御意見票でやりましょうか、どうでしょうか、お時間のほうは丈夫ですかね。お時間のほうは若干あるということなので、この資料2の淀川区の運営方針の振り返りについてということで、何か意見のある方、挙手でお願ひできますか、名指しでいってもあれなので。

どうぞ。

○浅井委員

一番最初に防災対策というのがありますね。この防災対策で淀川区に東南海地震が起こったときに何メートルの津波が来るんかと、波の高さ。一般的には3メートルとか、3.5メートルというのはニュースでやっているんですけども、宮原小学校、宮原地区で、宮原小学校の近くに標高を書いてあるんですよ。標高ゼロメートルとなっているんです。ということは完全にあの辺は水没してしまうと。だから自分の住んでいるところがどれぐらいの高さで、今の津波がどれぐらいの高さで来るかと。その高さの堤防があれば津波が入ってこないんじゃないくて、あれはエネルギーを持っているんで、だから、水の粒子というのか、それをぐっと押し込んでくるので、あれを超えてくるんですよ。だから、波の高さと実際の堤防の機能からいうたらもう波の高さのほうが遥かに押し込んでくると。

○山本議長

高いんですよ。

○浅井委員

ですから、その辺でローリングストックで普段からの備えとかも、こういうのも大事なんですけど、まず命を守るということにおいて、その辺一体何メートルの波が来て、どれぐらいまでの波が、水が来るかと、それを最大値で出しておった。

○山本議長

出しているかどうかということやね、水害のハザードマップ、水害ハザードか何かというのがありますよね。あれってどういう基準でやっているかというのは僕ら分かっていなくて、色分けされてるんですよ、この地区はこれだけつかりますとか、ようけつかりますとか、濃い色ほどようけつかるのかな、あれは。それプラス、津波避難ビルが、どこどこにありますというような番号を振ってあったりとかいうのが、水害ハザードマップだと思うんですけど。今言われているように、最大というんですか。

○山田市民協働課長

南海トラフによります地震、津波については淀川区内、特に西のほうで、確か3メ

ートルか何か、それがだんだん東に行けば行くほど少なくなっていって、東三国の神崎川に近いところは、その淀川から来る分についてはほぼ行かないように、今のハザードマップ上であったと思いますけど、高潮とかになりますと、淀川区全体が最低でも1メートルぐらいはつかるとはならないかというようなハザードマップになっています。

あとは神崎川のほうがあふれたときはまた今度東三国、新高の方から来ますので、そこはそこで想定がされてるようなハザードマップになって、すみません、細かいことを記憶していなくて申し訳ないんですけども、そういったものが市民協働課のほうにありますので、まだおっしゃっていただければお渡ししますので。

○浅井委員

どっかの大学の先生がそれを大体何メートルになるというふうに、数字のほうはそういうことですね。

○山本議長

恐らく想定できる最大の被害に対してそういうものをつくっているんだと思うんですね。だから、想定外という言葉は当然出てくると思うんですよ。地震でもマグニチュード7、何を想定してやっているだけで、マグニチュード8が来たら想定を超えてしまうわけなんで、あっていいか悪いかではなくて、必ずそれを見ておいて、やっぱり警報と避難発令、そういうのが、避難命令が出たら、自分はどこに避難するんだということを常に頭に置いておかないと、その避難ビルに行けというのではなくて、別に隣の高いマンションに逃げてもいいわけですから、ふだんからそういうことをある程度考えておかないといけないし、町会の役員をやっている我々にしてはそういった情報を常に発信していかないといけないというふうには思います。

浅井さん、どうもありがとうございます。

○大西委員

いいですか、今の話で。大阪みたいに内陸やのに、海沿いだったら津波で被害は分

かるんですけど、内陸やのに、波で決壊するんじゃなくて、多分降雨とかで決壊するんですね、地震プラス降雨ですよね。津波って来ないですよね。

○山田市民協働課長

津波が来ます。

○大西委員

神崎川に来るんですか。

○山田市民協働課長

淀川の下流のところには。

○岡本区長

川を遡上して、それがあふれるんです。

○山田市民協働課長

ずっと南のほうから来て、そのまま逃げるところがないので、淀川に入っていくという想定です。

○山本議長

どんどん入ってきて、わっといく。それが高潮とか満潮時と重なると、もっともっと被害が大きくなるみたいな。

○山田市民協働課長

ハザードマップはもう一つ内水氾濫といって、大雨が降って、川があふれる前に下水道とかその辺がいっぱいになってというところと、3種類から4種類の想定でハザードマップはつくらせてもらっています。

○大西委員

はい、分かりました。

○山本議長

よろしいですか、大西さん。

○大西委員

はい。

○山本議長

寺田さんも意見ありますか、この今の防災だけじゃなくて。

○寺田委員

この令和4年度のこれですよね。

○山本議長

はい。これの中身に対して。

○寺田委員

特になんですけど、非常に少子化に向かって非常に各地域で努力されていると思うんです。その中で大阪、結構いろんな無償化とか、進んでいるところが多いと思うんですけど、ただ、そんな中でもお金だけじゃなくて、どうやって子育ての負担を減らしていくかというところでは、いろいろヨドジュクとかよど検とかされて、いろんな運営されていると思うんですけども、それでも少子化がなかなか止まっていけないというような感じがしますので、そこのところをいろんな防災も、一番防災が大事なんですけど、その中でその次に順番になっている子育て支援というところを引き続き重点的にもっともっとやっていただくとありがたいなというふうに思います。

以上です。

○山本議長

ありがとうございます。

あと水本さん、何か御意見ございますか。

○水本委員

よくできているなと思います。この要援護者というところがあるんですけども、いろいろ区役所の方が来て、うちはさせていただいたんですけど、これはぜひうちは13町会があるんですけども、町会長さんにこれはいいでと言ってくるけど、ぜひということで、うちの町入らせてもらったんですけども、何がいいねんというたら、ま

だ分からないけどもいいん違うかという、分かったような分からんような話やけど。

ちょっとうこういうことでも、うちはプラスチックのあれをさせてもらうことになりました。あれだって実際の話もう町会長さん、そんなものどうやのんという人がおりますわね、やっぱりいろいろ。まず、うちだけでもやろうやないかということで、やっとうち、9月からやることで、この間うちの役員会で班長がやって決めたんですけど、だから、やっぱり言うたら偉そうか分からんけど、やっぱり誰か率先してまず一歩踏み出すというのが何でも大事やないのかなと思います。それは一人でできんから、私がいつも言うように、困ったときの市民協働課頼りっていつも彼らに相談して、あの2人に相談してるからいけるんやろうけども、せっかくこういう資料があって、これは普通の方は知らんと思うんですよ、防災のときにこれがどうの、こういうことをやってくれているとか、統計とっているなら、これは私もこの間入らせてもらって、ちゃんときちんとした取組をしていただいているんやなと思って感謝いたしております。

以上です。

○山本議長

ありがとうございます。ペットボトルの回収のことですね。

○水本委員

はい。ペットボトルは金にならんでという話がありました。金にならなくていいんやという、こんなことで、ペットボトルにとって、外していうてやると、それはもう初めはそれは大変です。それはもう分かっているんです、初めはもう、初めから完璧はできん、それだからうちは金曜日に来て、だめなやつは土曜日に取りに来てもらうと、どこでもやっているのであれやります、とりあえず一歩踏み出そうかということで。

○山本議長

ありがとうございます。ペットボトル、軽いのでなかなかお金にはならないんですけど、環境には非常にいいことなのでぜひ進めていただきたいなと思います。

それと、今要援護者の件が出ましたけれども、淀川区とも18連合みんなではないですけれども個別支援の取組とかで、協定ですね。協定を交わしたりとかいろいろ進んでいるのは確かですけれども、まだ遅れているところもあるような感じなので、18連合全部足並みそろえられるように、我々も頑張って協力していきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

次行きますか。何ですか。

○水本委員

避難ビル、津波避難ビルというのがあるじゃないですか、地域に、ずっと。自分こんなこと言ったら恥ずかしくて聞くようですけど、津波避難ビルって当然うちの町会に一つあるんですけど、ほかの町会も。その西中島やったら誰が避難してもいいということにはなっているのは、区長さん、そういう解釈でいいですよ。

○岡本区長

そうです。

○山本議長

誰でもいいんですよ。

○水本委員

誰でもいいわけですね。だから、入ると言っていた、間違いないじゃないですか。だから、こんなに言われなきゃいけないけど、初めの契約じゃないけど、やったところが中心ではなくて、ほかの者もざっとというふうで、そういう解釈でいいわけですか。

○山本議長

はい、結構です。当然地域外の方も、たまたまそこにおられたりしたら逃げ場がないので、皆さんと一緒にわっと避難ビルに行ったりすることもある。

○水本委員

大変お年寄りの方が喜ばれているんです、うちの町。

○山本議長

ビルが多いですからね。

○水本委員

もうほかの人がいっぱいいて、入れなかったらどうしようかいなと思ったりもするんやけど。分かりました。

○山本議長

それでは、次に議題の④番ですか、「令和５年３月全体会議及び５月部会における意見への対応方針について」ということで、区役所のほうから御説明のほう、よろしくお願いいたします。

○田口政策企画課長

A３の資料３でございます。

○山本議長

見開きのやつですね。

○田口政策企画課長

はい。これももう事前にお配りしておりますので、もうかいつまんでということにさせていただきます。

全部で７項目ありまして、今日御出席の方でいいますと。

○山本議長

お二人、意見出してもらってますね。

○田口政策企画課長

そうです。ナンバー２ということで、中井委員さんから、災害時にスマホの充電等で困るということで、電気自動車の公用車としての使用等をどういう形でやっていくのかをお聞きしたいですという御質問でして、区の回答・対応方針につきましては、令和５年以降は、スマホ等が充電できるコンセントがついている形の電気自動車の公用車を導入することを検討しているということでもあります。

今おっしゃった、もうお一人ですね。

○山本議長

寺田委員ですね。

○田口政策企画課長

そうですね、一番最後、寺田委員から御質問ありました、今までやっていた活動内容の、地域の担い手を増やすにはということでございまして、今までやっていた活動内容の削減を行ってはどうでしょうかということで、最後、デジタル化、オンライン化によってできるだけ効率のいい形で活動をしていくことも削減につながると思いますということで、区の回答・対応方針としましては、ここに書かれておりますLINEWORKSとか、あるいはiPad等を活用した研修をまちづくりセンターと連携して取組を進める予定であるということでございます。

説明は以上になります。

○山本議長

お二人、御意見を出していただいたと思うんですけども、区の回答に対して何か、満足いつているのか、そこら辺をちょっとお伺いしたいんですけど、意見と回答が一致しているのかどうか、ほぼほぼこういうことですか。

○寺田委員

はい。

○山本議長

中井委員さんのほうのスマホ、これは公用車1台でスマホ何台充電できるとか、そんなのはあるんですか。

○中井委員

タブレットも、うちの町会もいただいた中でなかなか、たまに私も会館へ行っているんですけど、うまく使えているのかなというちょっと心配はある。私も今日が悪いもので、今日もパソコンの資料を渡したらほとんどできないので、音声しか申し訳な

いけど、だから、スマホで情報連絡するというのは、これから私みたいなアナログ人間はもう駄目ですけど、デジタル化でマイナンバーなんか、私なんか一番最初にもう登録しましたけども、どんどん進めていって、やっぱり情報発信を多くしていくという、コントロールも大事なんですけど、そのコントロールが物すごく難しいと思うんですけど、片一方で。その辺のところの回数を増やしてほしいなと、若い方には。我々の時代はもうちょっと私にはもう間に合いませんけども、これからそういう形で増やしていかないと、タブレットもいただいているので、やはりそういう中で発表をしていていただきたいなという思いはございます。事務所へ行ってまたいろんな話はさせていただくつもりでありますけど。

○山本議長

ありがとうございます。確かにもう皆さん顔を合わないでずっとこういうのだけでお話ししたりするような若い方も増えていきますし、災害時、停電が起こった場合に必ず充電というのが問題になってくると思うんですけれども、皆さんの町会でも発電機、予備の発電機を準備したりとかいうような多分地域もあると思うんですけれども、果たして1台の発動機、発電機というんですか、何台ぐらいできるんやろうというのは実際やったことないのでよく分からないんですけど、そういったのも事前に調べておく必要もあるんじゃないかと思いますし、逆に、質問なんですけれども、公用車1台でスマホ何台充電できるんでしょうか。

○山田市民協働課長

今回購入予定の軽自動車の分なんですけど、すみません、カタログ上、何キロ走れるかしかが書いていなくて、どれくらいの、そういった利用として、災害時の利用があまりカタログ上書いていなくて、バッテリーの容量から割り算していけばいいんですけど、もちろん外、避難所まで行って、電気で行って、そこで充電となりますと、どれだけの残が避難所に、もちろん空っぽになれば区役所に戻ってきて、区役所は自家発電がありますから、そこで充電してまた行くということにはなるんですけれども。

ちょっとすみません、はっきりとは。

○山本議長

区役所自身は災害時停電になったときには自家発電で。

○岡本区長

自家発電は積んでいます。

○山本議長

全部ですか。

○岡本区長

自家発電で。

○山本議長

機能はできるというか。

○山田市民協働課長

7 2 時間で、全部の蛍光灯はつかないですけども、この総務エリアと、あと各フロアの半分ぐらいのコンセントはつくようになります。ですので、業務は継続することが可能です。

○山本議長

何とか進められる。結構すごいな、やっぱり。

何か皆さん、ほかに御意見はございますでしょうか。

○浅井委員

送っていただいた文章を読んでいたら、何か読みにくいなと感じていたんです。片仮名の文字が物すごく多いんです。

○山本議長

この見開きの。

○浅井委員

この書類全体に。

○山本議長

全体的に。

○浅井委員

例えばアウトリーチって書いてあったり、そんなもの、我々絶対使わない言葉なんです。だから、その辺もうちょっと、例えば横に括弧書きで日本語ではこういうことやと入れていただくとか。

○山本議長

注釈が要るということですかね。

○浅井委員

だから、プリントってあっても、足跡という意味なんか、印刷物という意味なんかとか、そういう文章の流れでいったら分かると思うんですけども、ちょっと私はこれを読んでいて、物すごく何か読みづらいと思っていたら、やっぱり片仮名が多過ぎて。

○山本議長

ちょっと一工夫してほしいということなんですけど。難しいですよ、確かに。

ほぼほぼ今日の議題は一通り終わっているんですけども、今日の議題以外に何かちょっとこれは言っておきたいなと。一応今日で部会は最後になるんですよ。次、また候補してくれたらまたここでお会いすることができるんですけど、もう今日で本当に終わりという方もおられると思うので、何か一言、二言ありましたら、御挨拶でも結構ですし、何でも言っていただければと思います。

大西委員は次回も。

○大西委員

やらせてください。

○山本議長

ありがとうございます。何かありますか、特にないですか。

○大西委員

今日のこの会議で。

○山本議長

ううん、今まで2年間を通してとか。

○大西委員

いろいろ思ったことはあるんですが、会議が発展できるように、少しでもお役に立てればなと思います。

○山本議長

また建設的な御意見をお願いいたします。

浅井さん、いかがですか。来期も、もう1期やっていただけるんですか、誰かに代わられるんですか。

○浅井委員

代わってくれというふうに言われていないから。

○山本議長

じゃあ、ほぼほぼこのメンバーかもわからないですね。

○浅井委員

だめだと言われたら、誰か探しますけど。

○山本議長

水本さんはぜひ。

○水本委員

2年間お世話になりましたけど。

○山本議長

もう辞めちゃうんですか。

○水本委員

今度は、先ほどから出ておりました、活発な女性の方、私の代わりに。

○山本議長

女性登用ということで。

○水本委員

御期待をいただきますよう、皆さん、ひとつよろしく願いたします。ありがとうございました、本当に。

○山本議長

水本さん、2年間ありがとうございました、お疲れさまでございます。

○水本委員

お世話になりました、ありがとうございました。

○山本議長

中井さんはいかがですか。

○中井委員

私は正直言って、もう本当のことを言うと、自分に不満足なんです。なぜと言いますと、私が若いときにもう目がよかったらもっと自分で勉強して、いろんな意見をちょっとお伝えしたかったんです。正直言って、本当にもう3分の1も消化できていないと申し訳ないなと思って、ですから、4年間やって、いろんな経験も踏まえて、いろんなことをしゃべりたかったし、もっとこの書類に出てきたところをもっと精査して、本当のことを言うと、自分なりの考え方をもっと発表したかったのに、本当に3分の1もできていなかったなと思って、本当に申し訳ないなと思って、年を取ったら本当に情けないなと思って、つくづく反省しております。いろいろお世話になってありがとうございました、本当に迷惑かけまして。

○山本議長

貴重な意見、本当にありがとうございます。

最後に寺田さん。

○寺田委員

卒業させていただきます。

○山本議長

卒業ですか、残念。結構斬新な意見を聞いていたんですけれども。

○寺田委員

本当に会社人間で何も知らなかったんですけど、いろいろと勉強させていただいて、こういう課題があって、淀川区がどういう運営をされて、どんな実行をされているのかというのが本当に2年間でしたけどよく分かったなと思います。ありがとうございました。

○山本議長

こちらこそありがとうございます。

○寺田委員

それで、これからもそういった目でしっかりと見ていながら、ちょっとでも社会に、地域に貢献できるように頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

○山本議長

こちらこそありがとうございました。いろいろよどマガ！も読むようになっていただいて、以前はもう全然読んでおられなかったというお話を最初に聞かせてもらったのでよかったと思います。貴重な意見を本当にありがとうございます。

そうしましたら、今日の議題はほぼ終了でございますので、事務局にお返しいたします。

○大橋政策企画課長代理

本日の議題は以上でございます。山本議長、議事進行ありがとうございました。

南議員におかれましては、お忙しいところ御臨席いただき、ありがとうございました。

区政会議の皆様、長きにわたり忙しい中、区政会議に携わっていただき、本当にありがとうございました。引き続き委員を続けられる皆様、また今後もよろしくお願い

いたします。

次回の区政会議につきましては、委員改選後に第1回全体会議を10月から11月頃に予定しております。日程は今後調整させていただきます。

時間の関係で発言できなかった御意見等がございましたら、お手元の御意見票に御記入の上、8月16日水曜日までに事務局までメール、または返信用封筒にて御提出のほう、お願いいたします。

また、併せてお配りしております区政アンケートにつきましても8月16日水曜日までに事務局までメール、または返信用封筒にて御提出のほう、お願いいたします。

それでは、淀川区区政会議コミュニティ向上部会を終了いたします。本日は長時間にわたりましてありがとうございました。